

No.157

# さい議会だより



戸締り用心！火の用心！（4月9日 佐井村保育所幼年消防クラブ 防火パレード）

3月定例会

平成24年度予算を可決 ……2 ページ

一般質問に3人登壇 ……4～8 ページ

大間原発工事再開を認めたのか ……10 ページ

平成24年第1回定例会は、3月5日から8日までの4日間の会期で行われました。

村長から承認1件、補正予算案5件、当初予算案6件、条例案12件、その他6件の計30件、議員から条例案1件および陳情の採択に伴う意見書案2件が提出され、それぞれ全会一致で原案どおり決しました。

## 前年度並の予算規模 平成24年度各会計の予算を可決

会 計	平成24年度当初予算額	平成23年度当初予算額	比 較
一 般 会 計	23億3602万5千円	23億3442万7千円	▲159万8千円
特 別 会 計	簡 易 水 道	7416万0千円	7455万6千円 ▲39万6千円
	下 水 道	1億7280万2千円	1億6655万9千円 624万3千円
	国 民 健 康 保 優	4億4020万7千円	4億2351万8千円 1668万9千円
	介 護 保 優	2億6562万5千円	2億5018万7千円 1543万8千円
	後期高齢者医療	2323万4千円	2343万7千円 ▲20万3千円

### 議員提出議案

- 佐井村議会の議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正
- 佐井村介護保険条例の一部改正
- 教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部改正
- 佐井村特別職の職員の給料等に関する条例の一  
部改正
- 佐井村公の施設に係る指定管理者の指定について
- 津軽海峡文化館（アルサス）
- フォーレストパーク（森林体験館）
- 願掛公園野営場（ケビンハウス）
- 佐井定期観光株式会社
- 佐井村観光協会
- NPO法人ゆいっこクラブ
- 指定期間 平成24年4月1日から平成29年3月31日まで



### ○津軽海峡文化館（アルサス）

団体名 佐井定期観光株式会社

### ○フォーレストパーク（森林体験館）

団体名 佐井村観光協会

### ○願掛公園野営場（ケビンハウス）

団体名 NPO法人ゆいっこクラブ

指定期間 平成24年4月1日から平成29年3月31日まで

## 引き続き厳しい財政運営

# 平成24年度の主要施策は

**川岸議員**

平成二十四年度当初予算是、佐井村第四次長期総合計画の重点施策を中心に編成されているとのことだが、目玉となる施策はあるか。

**へき地医療の確保など**

**村長**

へき地医療や患者輸送送迎バスの確保、中学生までの医療費の無料化、がん検診の無料化、国民健康保険加入者の特定健診の無料化、街路灯のLED化、村道・橋梁の補強などの改修工事の実施などである。

**AL-T事業は継続するのか**

**川岸議員**

三法交付金を活用して実施してきた外国语指導助手招致事業(AL-T)だが、交付金は平成二十四年度で終了となる。今後も事業は継続していくのか。



クリスティ先生との授業（佐井中学校1年生）

**存続に向け協議している**

各学校からもAL-Tは必要不可欠であるとの意見があり、交付金が終了となつても、平成二十五年度以降は村の臨時職員として採用し、教育委員会に配置しながら活用したいと考えている。

**村長**

**臨時職員として採用し活用したい**

**教育長**

新学習指導要領の完全実施により、小学校五年生、六年生が年間三十五時間英語の授業を行う状況になっている。

**お互いに理解し合い進めたい**

**村長**

今までのように、観光協会や商工会から提案がありそれに村が手伝うという流れではなく、お互いに話し合い、理解し合いながら進めていきたい。

行政もある程度提案していきたいという思いである。

**竹内典和議員**

平成二十四年度の当初予算の中で、商工会・観光協会への補助金があるが、中身はほぼ人件費である。

村長は各部門の主な施策の中でも地域経済の浮揚に努めると言っているが、その施策の内容は。

**行政が率先して取り組むべきでは**

**竹内典和議員**

毎年同じような予算措置をしてきたことにより、地域経済が低迷している。

これ以上経済が落ち込まないよう行政が率先して活性化対策を図るための予算措置に取り組む必要があると思うが。

**補助事業活用し協議する**

**村長**

予算措置もそうだが、国・県の補助事業など活用しながら協議していく。

**地域経済の低迷**

**活性化への施策は**



竹内典和議員

# 地域担当職員制度、景気不振、幼保一体化… 村民の悲鳴は聞こえていいのか 村長——住民と対話する姿勢を持ち進めていきたい

フットワークが悪いと感じている

住民に理解されていないのでは

勤務時間外でも対応する

細かく親切に説明するべきでないか。この制度が機能すれば、素晴らしい行政運営ができると思うが。

観光協会・商工会と連携を取る

**竹内典和議員**  
最近、村が衰退している、生活が困窮しているという声がある。村民の悲痛な声、悲鳴ともされる声が村長には聞こえている。

**村長**  
声として聞こえている

私の指導力を含め、フットワークは悪いと思っている。職員にもう一度意識改革を促すつもりである。

住民は問題提起から解決までの流れ、村民は誰でもいいのか、相談するのはいいのかなどほとんど理解していない。

地区における課題・要望・相談を地区会並びに行政連絡員を通じて担当職員に申し入れをする。その後相談内容を記録し、総務課へ提出、担当課へ紹介という流れになっている。

担当課は速やかに内容について確認・検討をし村長へ報告及び地区へ回答する。担当職員は、地区的都合によつては時間外でも要請があった場合は対応するようになっている。

**村長**  
職員を指導する

地域経済が大変衰退しているのは十分感じている。観光協会・商工会と連携を取り知恵を借りながら共同で対応していきたい。

**村長**

中でも商工業、建設業は衰退がひどく死活問題になっているが、今まで何年も商工業育成のための予算措置がなされていない。地元仕事を発注させることによって雇用が生まれ、大きな支援になるのではないか。

**地域担当職員制度の現状は**

**竹内典和議員**

地域担当職員制度について、制度ができてから二年が経過しているのに住民にはほとんど浸透せず理解もされていない。

職員のフットワークもあまりいいように見えないが、現状はどうか。看板だけではないか。



議会報告会でも地域担当職員制度についての話題が出た

**竹内典和議員**  
住民には細かく説明すべき

**竹内典和議員**  
村内の景気不振に対する対策は

**竹内典和議員**  
地元優先の物品購入を

**竹内典和議員**  
住民への周知徹底をお願いしたい。また、要望に対しても

事がない、物が売れない、所得が少なく生活が苦しいなど村内の景気不振は未だ対策が見えてこないが、この事態を村長はどう思っているのか。また、村としての対策はどのように進めて

さい議会だより 157 号 ④

## 3月定例会

**入札制度のため  
理解してほしい**

**村長**  
入札は地元の業者に落札してほしいとは思っているが、制度であるため中には随意契約ができるものとできないものがあることを理解してほしい。

**村長**

る。特に低学年の遅れが後々に響き、将来進学に影響あるのではと保護者の方々が危惧している。

なぜ新保育所を作る時、幼稚園も併設できなかつたのか。

**工夫すれば  
可能でないか**

**竹内典和議員**

村内でお金を使うことにより村を潤し、巡り巡つて税として返つてくる。やり方を工夫すればできると思うが。

**多くの課題があり  
見送られた**

**村長**

それぞれ所管する機関が文部科学省と厚生労働省で違うこと、その他多くの課題が残り幼保の完全一体化は見送られた。

**今後一體化する  
予定はあるか**

**竹内典和議員**

まさに今、法改正が行われようとしているが、村として事態を開拓するため幼稚園の新設、あるいは幼保一體化を考えているか。

**動きがあれば  
協議したい**

**竹内典和議員**

保育所でなく幼稚園が欲しいとなれば、保護者等と協議し、考えを十分受け止めるか。

**なぜ幼保一體化  
にしなかつたか**

**竹内典和議員**

以前から小中学生の教育、学力の遅れが指摘されてい

めそれに向け進む方向性は持っている。

**学力の遅れへの  
対策は**

**竹内典和議員**

低学年の学力が遅れていることは前から指摘されてきたが、その遅れに対する対策、教育の充実をどのように図っていくのか。

**積極的に幼児教育  
を取り入れている**

**村長**

現在、保育所は指定管理で運営しているが、幼稚園に勝るとも劣らないカリキュラムを用意し、教育に積極的に関わるようになってきた。

**昨年、小学生を対象に実施した「CRT学力検査」の結果では、全国レベルの水準を維持している。**

**教育長**

わかる授業づくり、習熟度別の授業、個別指導、村

費講師とスクールサポートの一の活用によって学力向上に努めている。

そこまでは把握していない。

教育への手厚い対策を望む

**竹内典和議員**

村の教育環境は他市町村に比べて決して良くないと思う。教育こそ村を立て直す武器だと思っている。優秀な子どもを育てるため、手厚い対策をお願いしたい。

**村長**

学力を低下させないよう教育に力を注いでいきたい。今後とも叱咤激励していくだければ大変ありがたい。

力を注いでいく



これから勉強がんばります！（4月7日 佐井小学校入学式）



山口捷夫議員

**大間原発建設工事休止から一年**

# 工事再開への村としての方向性は 村長 安全確保など要望どおり進んでおり、「問題ない」

**山口議員**  
大震災で大間原発建設工事が休止して一年が経つ。村としても工事再開についてはいろいろと判断に苦慮しているようだが、そろそろ村としての方向を村民に示すべきでないか。

**村長**  
要望どおり進んでおり問題ない

**山口議員**  
再開の要請が来れば認めるのか

**山口議員**  
電源開発株から工事再開の要請が来れば認めるといふことか。

**村長**  
そのとおりである

**山口議員**  
見込んでいる

**村長**

経済効果を金額で示すことは容易ではないが、数億円以上の金額になると見込んでいる。

期待できることは、工事受注による雇用、消費の拡大などである。

**山口議員**  
実施は考えていない

**村長**

私の再開の判断は先程述べたとおりであり、アンケートの実施については考えていらない。

**山口議員**  
説明会や広報で周知しては

**山口議員**

先日、各地区で議会報告会を開いたところ、工事再開についてアンケートを取つて村民の声を聞いたらい

村長が再開について方向性を示したのであれば、住民説明会か広報などで考え方を示し村民に知つてもらうことも一つの方法ではないか。

**山口議員**  
住民アンケートを取りつてみては

**山口議員**

電源開発株では国の指導の下、十分な安全性確保のための取り組みが進められている。避難道路について、村全体での経済効果はどうくらい見込めるか予想しているか。

工事がもし再開したとして、村全体での経済効果はどのように見込めるか予想しているか。

考へさせてほしい

**村長**  
一つの方法として十分考へさせていただきたい。



大間原発三ヶ町村協議会では、国・県へ避難道路の整備促進の要望活動を行った

## 3月定例会

県の避難道路に  
係る予算内訳は

山口議員

平成二十四年度県予算の中に、下北地域広域避難道路確保対策事業として四億六千万円が計上されている。そのうち四億五千万円は薬研・佐井線、川内・佐井線へ割り当てられるとのことだがその内訳は。

薬研・佐井線と  
川内・佐井線へ

村長

薬研・佐井線に二億三千円、川内・佐井線に二億二千万円の事業費が配分され、残り一千万円は大間町・むつ市間の幹線の整備調査費である。

薬研・佐井線、川内・佐井線は両線とも国有林野内であることから、路線測量、計画、貸付測量が主で一部補修工事などが見込まれている。

配分額は協議中で  
あり確定ではない

参事・総務課長

この事業内容については、県の内部でまだ協議中であり、金額が流動的なため配分額が若干変更になることをご理解いただきたい。

この予算に対する  
村長の考え方

山口議員

この予算を見ると、下北地域の避難道路がいかに必要であるかという県の理解が大きく占めているように感じられるが、村長はどうによく考えているか。

県が両線の重要性  
を見直してくれた

村長

県が両線の避難路としての重要性を見直してくれたものと考えている。今後はスピード感を持つて避難道路を作つてほしいことを要望していきたい。

避難道路の  
早期完成を願う

山口議員

避難道路は一番重要な  
発電所ができる前に避難道

道路が完成すれば住民が安心し、地元の理解を得られるとと思う。

一日でも早く完成するよう三ヶ町村一体となつて要望してほしい。

県に要望していく

村長

災害対策等で工事が必要な箇所も一緒になって県に要望して参りたい。

## 3月定例会 陳情書の審査結果

件名	陳情者	審査結果	付託委員会
TPPへの参加反対の意見書を求める陳情	食と農を守る青森の会	不採択	総務産業常任委員会
公的年金の改悪に反対する意見書提出を求める陳情	全日本年金者組合青森県支部	採択	総務産業常任委員会
「こころの健康を守り推進する基本法」(仮称)の制定を求める意見書提出に関する陳情書	下山洋雄	採択	総務産業常任委員会

※「TPPへの参加反対の意見書を求める陳情」不採択の理由

TPP交渉参加について、我が国の第一次産業を守ることは当然であるが、多角的な議論が必要である。

今回の陳情の趣旨は、「関係各国との協議を中止すること」であり、協議は必要であるという観点から不採択とした。



田中岩男議員

田中議員

# 老朽化進む原田漁港 早期の改修を望む

村長 — 利用者の不便解消に努めたい

村長  
防波堤は、陸揚げや休憩用の船舶を接岸するために整備されたものではなく、防波堤の基礎部分の改修予定です。

防波堤のため  
改修予定はない

岩石により  
接岸できないが  
原因を究明し  
対応したい

財源確保に苦慮している  
が、船舶の安全確保の観点  
から原因を究明し、水深測  
量などを実施・調査のうえ、  
掘削などで対応したい。

防舷材を  
付けたらどうか  
基礎部分が弱くなり亀裂が  
入って防波堤が役に立たな  
くなる。

港内が土砂等により浅くな  
ったということであれば、  
水深測量などを行い、必要  
と判断されれば、財政状況  
を鑑み対応したい。

船は手前の物揚場に着け  
てほしい。  
定はない。

船は手前の物揚場に着け  
てほしい。

定はない。

導船溝に砂利が入つてく  
るため、漁師の方々が砂利  
を片付けながら船を揚げて  
いる状況である。砂利の撤  
去について何とかできない  
か。

導船溝の  
砂利の撤去は  
ますは  
物揚場に係留を

防舷材が一番いいと思う  
が、物揚場に船を着けず防  
波堤に係留するのはおかし  
いのではないかと考える。

まずは  
物揚場に係留を

防舷材を付けたらい  
いのか。  
防舷材が一番いいと思う  
が、物揚場に船を着けず防  
波堤に係留するのはおかし  
いのではないかと考える。

防舷材を  
付けたらどうか  
削ることが無理であれば  
防舷材を付けたらい  
いのでないか。

港内が土砂等により浅くな  
ったということであれば、  
水深測量などを行い、必要  
と判断されれば、財政状況  
を鑑み対応したい。

防波堤の越波は想定され  
ているが、船舶の被害報告  
がなかった。

防波堤の越波は想定され  
ているが、船舶の被害報告  
がなかった。

防波堤の越波は想定され  
ているが、船舶の被害報告  
がなかった。

防波堤が来ると、港内に波  
が入り船が係留できない状  
態になる。岸壁の裏手に消  
波工など設置する計画等な  
いか。

消波工設置の  
考え方はあるか  
計画がない  
状況である

確かに生ぬるいと感じ  
る。ただ現在、消波工  
を設置する計画は全くない  
状況である。

事故が起きてからの対応  
では遅いのではないか。

た場合、施設の機能を強化  
する必要があるため、実態  
を把握し対応していきたい。  
今は昔と違った波が来る場  
所も変わっている。財政上  
厳しいかもしれないが、消  
波工の設置をお願いしたい。

た場合、施設の機能を強化  
する必要があるため、実態  
を把握し対応していきたい。



漁港の改修は原田地区の長年の要望である

田中議員  
対応が遅くないか

田中議員  
計画がない  
状況である

田中議員  
事故が起きてからの対応  
では遅いのではないか。

田中議員  
た場合、施設の機能を強化  
する必要があるため、実態  
を把握し対応していきたい。  
今は昔と違った波が来る場  
所も変わっている。財政上  
厳しいかもしれないが、消  
波工の設置をお願いしたい。

田中議員  
た場合、施設の機能を強化  
する必要があるため、実態  
を把握し対応していきたい。

村長

田中議員  
最大限努力したい

田中議員  
今後は越波による船舶の  
破損や浸水、沈没などあつ  
たなくなり、動力船の舵が  
当たる状態となつていて、  
このことについて村長はどう  
考えているか。

田中議員  
要望する  
消波工設置を

# 各会計補正予算案を可決 大雪による除雪委託料の増 409万円

## 補正予算の内容

会 計	補 正 前	補 正 額	計
一般会計	25億1597万5千円	1172万5千円	25億2770万0千円
	消防団安全対策設備整備費補助事業	194万1千円	
	児童・生徒医療費給付事業扶助費	93万1千円	
	保育所運営事業業務委託料	375万3千円	
	除排雪業務委託料	409万8千円	ほか
簡易水道	7890万0千円	4万8千円	7894万8千円
下水道	1億6657万7千円	52万9千円	1億6710万6千円
国民健康保険	4億3013万2千円	▲363万1千円	4億2650万1千円
介護保険	2億7605万4千円	▲22万1千円	2億7583万3千円

## 総括審査

### 医師招へい事業

## 施設建設の構想は



歯科診療所も移転し、現在は使用されていない旧診療所

第四次長期総合計画のアンケート調査では、約六〇%の住民が医師不在に不安を持っている。

診療所を新設するかはその時の状況によると思われる。そのようなうれしい悲鳴があげられる状況になれば

と思っている。

当初予算で「医師招へい事業」として十万円計上されているが、例えば医師が来るとなつた場合、診療所や病院を作るという構想なのか。

竹内典和委員 構想はあるのか

診療所・病院を作りたいから医師招へいをしている。というのが説得力がある。そのような構想はないのか。

村長 その時の状況による

構想はないが考えていきたい

村長 現在そのような構想はない。招へいをして、もし来るようになれば、建物については皆さんの知恵を借りながら考えていいたい。

「原発工事再開 問題ない」報道

# 事実関係を問う

**坂井委員**

先日の一般質問を受け、新聞紙上では、「大間原発工事再開 佐井村長 問題ない」、また、「同原発の立地隣接三町村のうち、大間町と佐井村は建設再開を認めているのに対し、風間浦村長は昨年末から防災避難道路の整備が担保されなければ工事再開を認めないと謹重な姿勢である」との記事が載っている。

村長はこのことを確認しているか。

**建設再開を認めたのか**

から新聞社へ問い合わせてみたい。

**住民へ考え方示すべきでは**

私が聞きたいのは「問題ない」、かなりインパクトのある見出いで複数の方からどういうことかと話をされた。

さらに今日の新聞を見るに、大間町と佐井村は建設再開を認めたというふうに載っている。これはどのように経緯で認めることに至ったのか。

**安全全が最優先と今まで言つてきた**

**認めていな**

**住民から考え方や意見を聞き進めたい**

**川畠委員**

## ポーラスター福浦漁港接岸 整備した岸壁へできないか



議会報告会後に現場を視察（2月24日）

昨年の震災以降、住民の考え方は全く変わり、「原発＝安全」が「原発＝危険」だという状況になつていて。そういう中で、サイト内の安全は電源開発株が、避難道路については県・国が責任をもつてやってほしいと今まで申し上げてきた。

**事実関係を確認する**

その事実関係を村のほう

新聞報道は間違いだといふことなか。

**会社からは「接岸できない」**

**実際に接岸できるか確認する**

**田名部副参考事**

元々接岸できるよう整備計画したが、船舶自身の寸法が違つたのか。四月からの二便運航の前に実際に接岸できるかどうか行うことになつていて。

この件は地区からも要望があった。新しい岸壁は前の船「ほどくと」の接岸に合わせて整備したため、会社からは「示

### 震災関係各種事業

宮川委員

平成二十三年度予算で次年度へ繰越となつた「消防団安全対策設備購入事業」、

「衛星携帯電話等購入事業」は、昨年の震災に係わる事業である。まだ各地区へ整備されていないことから住民の心配する声も聞かれるが、事業の実施時期はいつか。

3ヶ月から

6ヶ月かかる

参考・総務課長

納入まで衛星携帯電話は概ね六ヶ月、発電機や投光機については三ヶ月から六ヶ月を要すると聞いている。

ハザードマップの作成は

宮川委員

同じく繰越となつた「津波ハザードマップ作成事業」の作成時期は。



3月に各公共施設の標高を示すカードが掲示された  
(写真右上部分)

3月以降となる

参考・総務課長

県からは三月をもってハザードマップの基本となる数値が示されるとのことから、それを基に作成する予定である。また、各避難所施設の標高等を表示するものを設置する。

今後は標高に合わせた避難所の移転や新設等も検討しなければと思っている。

宮川委員

ハザードマップ作成にあたり、各地区との話し合いや事前調査など考えている

作成に係る  
地区の参画は

参考・総務課長

役場にある資料のほか、やはり地区の方々が詳しいかと思うので参考にしながら作成していきたい。

### 各種健（検）診の一部無料化

### 健（検）診後のケアにも力を注ぐべき

川岸委員

新年度予算の目玉にがん

検診の無料化や特定健診の一部無料化が計上されているが、対象者や検診の範囲などの詳細は。

など

特定健診は  
国保加入者が対象

参考・住民福祉課長

各種がん検診は胃がん・大腸がん・肺がん・前立腺がん等が無料となっている。

二十歳から三十九歳までの

方の健康診査は全員無料、四十歳から七十四歳までの方の特定健診は国民健康保険の加入者のみ無料の対象となっている。

の指導を発揮してほしいと思うが。

村長

保健師同士の連携をとりながら、受診率が上がるよう努めていきたい。そして将来は医療費の削減につながるよう期待しているところである。

連携取りながら  
努めたい

川岸委員

保健師による  
ケアが大切では

受診したからよいのではなく、その結果に基づいてケアすることが大切である。

今、村には三人の保健師がいるので、村民の健康づくりのためにもアイデアを出し合いかながらケアを努めてほしい。村長もそのへん

#### 無料となる各種健（検）診について

○がん検診（※加入している保険の種別は問いません）

乳がん・子宮がん・骨密度・歯周疾患・胃がん・大腸がん・肺がん・結核・喀痰検査・前立腺がん・肝炎ウィルス検査

○健康診査・特定健診

- ① 20～39歳の方
- ② 40～74歳で国民健康保険に加入している方
- ③ 後期高齢者医療被保険証をお持ちの方
- ④ 生活保護の方



## 平成24年度当初予算

# 編成方針どおりの予算か

坂井委員

平成二十四年度当初予算は非常に厳しい中で編成されたと思うが、「平成二十四年度の予算編成の方針」に沿つてできたということを理解してよいか。

二十七年度には予算編成ができなくなり、村が村として機能しなくなるというこ  
とか。

坂井委員

取り前した

平成十三年度に取り崩した基金は年度内に返せるのか。

年度内に返せる

年度の予算編成の方針】に沿つてできたということで理解してよいか。

い 方針とおりではな

現状のままいけば 平成二十六年度で基金が底をついてしまい、平成二十七年度以降の予算編成もままならなくなる。今後も、財源の確保と歳出の抑制に取り組んでいかなければならぬ。

現状では村が機能しなくなるのか

現状の財政運営では平成

財政調整基金の残高があるうちから危機感を共有し、皆さんのお知恵を借りながら財政運営を進めていくという思いである。

皆さんの知恵を借り  
り運営したい

税の増で十分年度内に返せる状況である。

## 4461万円の予算計上

# 消防高機能指令センター事業とは

# 村長の元化を図る事業

119業務をむつ消防本部へ一括する事業として四千四百六十一万五千円が計上されているが、詳しい事業内容は。

## 牛滝・福浦地区の不惑地区は

①発信地表示システムにより、通報者の位置情報を瞬時に把握し通報から現場到着までの時間の短縮

②携帯電話、IP電話等による整備による事業効果は、一元化を図ることである。

**村長**  
**整備を図る**

③救急要請の集中時や連續火災通報、119番通報が集中した場合の受信能 力及び処理能力が特段に 向上し、複数隊の出場に 的確に対応できる。

④諸端末装置を分署や出張 所に設置することで、19番受信と同時に予告 音や出動指令等などによ

## 追跡質問

## 急がれる防災計画策定

## 住民の不安を早く解消すべき

竹内典和議員

物資・機材の購入など

村長

投光機や発電機の購入、業者から飲料水の提供による毎戸配布及び備蓄、各施設の整備を行っている。

住民への適切な指示はまだか

備品については整備されてきているが、地区の人々は避難所、避難道路について特に心配し、いつ起るかわからない災害に未だ適切な指示がなく不安になっている。

県やむつ下北地区において

住民の防災意識が高まっているうちに対処してほしいが。

これから見直しする予定

六月議会で質問した避難対策について、村ではその後どのような対策を取ったのか。

それぞれ原子力防災に係る協議会などが設置され、避難対策が検討、協議されおり、その結果を基に村の原子力防災を含めた防災計画の見直しが始まる予定となっている。

## 地域住民を交え策定してほしい

竹内典和議員

住民の不安を考えると、県の指針を待つまでもなく早急に対応する必要がある。計画策定期は各地区の人々を交えて十分検討してほしいと考えるが。

## 委員になつてもらい策定する

村長

計画策定の際に、各地区の方々が委員になり、十分検討したうえで計画を立てていきたいと考えている。

## 行政と村民の隔たりを感じる

竹内修議員

以前からこの計画の中、「協働のむらづくり」という文言を掲げてきているが、どうも行政と村民との間に隔たりがあるようを感じる。村長の言う「顔が見える行政運営」をするならば、自ら赴いていろいろな問題

## 追跡質問

## 総合計画前期実施計画書公表

## 三位一体で顔が見える行政運営を

点を共有しなければならないと思うが。

職員に対して若干の溝があるようである。なお一層地域住民との緊密な関係を構築していきたい。

地域に出向く機会を作ることを共存すればならぬと思うが。

職員に対する溝があるようである。なお一層地域住民との緊密な関係を構築していきたい。

点を共有しなければならぬと思うが。

職員に対する溝があるようである。なお一層地域住民との緊密な関係を構築していきたい。

十一月議会で質問した第四次長期総合計画について、前期の実施計画書ができ、検証委員会に答申するとのことだが、答申の結果は公表するのか。

村長へ提言された後に公表する

参事・総務課長

検証委員会からの提言が村長に提出された後に公表したい。

村民の皆さん所に出向く機会を作り、問題点を一つでも多く共有して村民と緊密な関係を作っていくたいと思っている。また、地域担当職員制度の部分で、

地域との懇談については、新年度に日程調整し極力実施するよう努めたい。

日程調整し実施したい

参事・総務課長

地域との懇談については、新年度に日程調整し極力実施するよう努めたい。



議会報告会では住民から村政・議会に対する意見が多く出された

3月定例会

追跡質問

## アルサス「道の駅」構想

# 周辺関係者との協議はいつか

山口議員

九月議会で質問した「道の駅」構想について、その後協議するとのことだったが行われていないようである。いつ頃協議するのか。

だけで良しとするのはちよつと違うのではないか。

各種団体が加入している

産業建設課長

アルサス活性化協議会には各種団体が加入し、その団体の代表者の意見を聞いたということを理解賜りたい。

当特別委員会は、昨年五月の臨時会において再度設置し、新たな形で取り組むことを決定した。

今年度は、議会改革の先進地である北海道知内町議会を視察研修した。

うち制定が可能ではないかと思っている。

進め、議会の役割やあるべき姿、議員のあり方などを検証しながら、今後も引き続き議会改革を推進していく。

村長

協議したと聞いている

各会合において構想について伺ったと担当から聞いている。

別会議の中で意見聞く機会を持つた

山口議員

改めて協議の場を持つ考えは

産業建設課長

昨年アルサス活性化協議会主催の「おさかなまつり」実行委員会の中で道の駅構想について意見を拝聴した。

その中では、今までアルサスは十分道の駅にふさわしく、それより館内にエレベーターやエスカレーターの設置を進めるべきとの意見が出された。

再度機会を作る

村長

私が村長にお願いしたのは、アルサス周辺の商工業者を集め、意見を聞くための機会を設けるということである。その協議する場を持つ考えはあるか。

一つの団体の意見を聞いて山口議員

1団体だけ聞くのは違うのでは

議会改革特別委員会委員長報告

**村民との対話を積極的に進めていく**

委員長：竹内典和



北海道知内町議会への視察研修（平成23年8月）

## 大間原子力発電所対策特別委員会委員長報告

# 避難道路の確保を優先すべき

委員長…川岸一彦

昨年は、福島第一原子力発電所事故によつて、原子力行政が大きく揺らいだ年だつた。福島第一原発事故は、最悪の「レベル7」という世界を搖るがす大事故となり今でも避難者、関係者の苦悩が続いている。

三月三十日の第二回特別委員会では、三月十一日に発生した東日本大震災によって、サイト内の工事

用停電の長期化、工事用重機の燃料不足、資機材調達等も厳しい状況から、工事を一時休止し、その工事休止がいつまで続くのか見通せないことが報告された。

五月二十三日の第三回特別委員会では、福島の事故を取り巻く状況を踏まえ、工事再開の見通しが立たないことや、大間原発の安全強化対策について説明があった。

また電源開発では、大間原発の防潮壁など安全強化対策を講じながら青森県原子力安全対策検証委員会への対応など、早期の

工事再開を期して強化対策に全力で取り組んでいることなどが報告された。

しかし、福島の教訓は事実に大きく影響している。工事再開を期して強化対策に全力で取り組んでいたが、事故によつて状況は大きく変化し、工事が約一年近く中断し、今後の計画に大きく影響している。

大間原発三ヶ町村協議会は、震災後三回開催され、協議した。昨年十二月二十七日には青森県副知事や県議会議長に対し、また、本年二月一日、二日にかけては国に対してそれぞれ避難道路の要望書を提出している。

地域防災計画の観点から、村においても特別委員会では工事再開より避難道路の確保を優先すべきこと、国道338号線の改良、あすなろラインの整備や、かもしかラインの通年通行を国・県に強く要望していくこととし、県でも前向きに応じることが確認されている。

特別委員会では、各委員から原発事故や大間原発の対応、避難道路など議論が伯仲した。

大間原発は、平成二十六年十一月の運転開始に向けて計画どおりに進んでいたが、事故によつて状況



昨年3月8日の建設工事の様子

### ～議会を傍聴しませんか～

第2回議会定例会は6月中旬開会予定です。

みなさんの議会傍聴をお待ちしています。

議会終了後は告知端末機チャンネルでも一般質問の様子を音声放送する予定でいますので、ぜひ放送をお聞きください。

詳しくはサイボードでお知らせします。